

① 文末からみたマンガの女子中高生の話しことば

遠藤 織 枝

マンガの中の話しことばは、一般に短い文章で、意思を簡単直截に伝えるものである。その短く言い切った文章のやりとりから生まれるスピード感がマンガ読者にとって快いものになってもある。

こうしてやりとりされる文章には、

「うそーっ」「だめーっ」「司郎」「ほんと?」「行こ」など1語から成り立っているものが多いし、「私も行く」のように主体と述語の整った文でも基本部だけを、何の修飾もなく単語を並べただけのものもある。もちろん「だめだよ」「そうだよ」のように終助詞やそれに準ずる語をつけてその感情や意図を表すものもある。

まず終助詞もそれに相当する語句もないものからみていく。

I 言い切り文

I…A 1語文

I-A-1

相手に対する呼びかけを1語で表したもの

人を呼ぶ呼び方は姓だけ、名だけ、職業、親族名称など各種あり、それだけで呼ぶものである。例として「先生」「パパ」「・・くん」などがあるが、その待遇の違いについては②論文に譲る。

「真帆ってば」のように助詞をつけるものもわずかにみられるが、それは例外的である。

I-A-2

応答詞

「ええ」「いや」など肯定か否定かをまず述べるためのことばで、この種

のものを肯定、否定それぞれに分け、さらに待遇の低いものから高いものへの順で並べてみる。

a 肯定

うん／ふん	46例
ええ	2
はい／はあ	17

b 否定

いや	3
いえ／いいえ	6

肯定ではいちばんぞんざいとされる「うん」が圧倒的に多く、「はい」の3倍ちかくなっている。友だちどうしの会話が多いのがその理由である。学園生活を背景にしたものが多いので、「はい／はあ」はそこでの先輩、先生に対するときに使われている。

否定は、丁寧度の高い「いいえ」のほうが多いが、否定の応答詞自体9例しか使われていないので、これだけで判断するのは無理だろう。

なお、『ことば10号』の「女性の話しことば」でテレビのインタビュー番組の中の女性の話しことばを調べた結果では、肯定は「ええ」>「はい」>「うん」否定は「いいえ」>「いや」の順であった。肯定については、今回の、より若い世代の話しことばでのほうがぞんざいであることがわかる。

I-A-3 あいさつ

マンガの中の女子中高生の使うあいさつ文としては次のようなものがあった。

ありがとうございました	2
ありがとう	9
ありがと	5
じゃね	4
じゃお先	1

それじゃお先に	1
それじゃまた	1
さようなら	1
バイバイ	1
失礼します	1
おじゃましました	1
ごくろうさまでした	2
おつかれ	1
おやすみ	1
おやすみなさい	2
おかえり	2
おかえりなさい	1
行ってきます	1
こんにちば	3
おはよう	15
すみません	9
ごめんなさい	20
ごめんね	13
ごめん	15
おねがいします	2
おねがい	2
おめでとう	2

比較的多く使われるあいさつで、待遇による違いのある「ありがとう」「ごめんなさい」について、その待遇別の使われ方をみると「ありがとう」のグループでは「ありがとう」>「ありがと」>「ありがとうございます」の順で、「ごめんなさい」のグループは、「ごめんなさい」>「ごめん」>「ごめんね」の順になっている。「ありがとうございます」の「ございます」の有無、「ごめんなさい」の「なさい」の有無で丁寧度が異なるの

であるが、「ごめんなさい」のグループでは「なさい」のつく最も丁寧な語形のものがいちばん多く使われるのに対して、「ありがとう」のグループは「ございます」のつくいちばん丁寧な形の使われ方がいちばん少ない。

これは「ございます」と「なさい」の質的相違——「ございます」は「だ→です→ございます」と3段階の最上であるが、「なさい」は「しろ→なさい」の2段階の上であるという——によるものと、これらあいさつ語を発したときの相手の違いによるものと思われる。「ありがとうございます」を発したときの相手は、自動車教習所の教官と警察官に対するものとの2例であった。このような、女子中高校生からみたら上位で、話す相手としては緊張するような相手との接触が少ないことが「ありがとうございます」という、いちばん丁寧な語形が少ししか使われていない理由であろう。この2種類のあいさつ語に限って言えば女子中高生のことばは特にぞんざいではないということになる。

I…B 2語以上からなる言い切り文

今回調査した言い切り文には、文末の形で分けてみると以下のようなものがある。

	出典番号
① いちばん右の子（名詞止め）	(108)
② …ってすごくステキ（ナ形容詞の語幹止め）	(053)
③ わーボロボロ（副詞止め）	(056)
④ その服カワイイ（形容詞基本形止め）	(060)
⑤ あったりまえだ（ナ形容詞基本形止め）	(047)
⑥ 好きな女なんていないと思う（動詞基本形止め）	(059)
⑦ AAOなんか帰れーっ（動詞の命令形）	(030)
⑧ わたしもやりたい（助動詞の基本形）	(242)
⑨ 信じらんない（ “ ” ）	(058)
⑩ 言われちゃった（ “ ” ）	(075)
⑪ 運命かわったみたい（助動詞の語幹）	(054)

⑫	ビデオ借りに行こう (助動詞の基本形)	(058)
⑬	どこの高校だろう (")	(108)
⑭	お兄さん似なんだ (")	(059)
⑮	あこがれてたんです (")	(060)
⑯	すごく大事にしてくれます (")	(093)
⑰	あんたにかんげーないでしょ (")	(057)
⑱	若玉田関とお呼び (お+命令形)	(056)
⑲	出してちょうだい (補助動詞の基本形)	(035)
⑳	先生と言いなさい (待過表現を含むの)	(047)
㉑	別れてください (")	(225)
㉒	江口真帆っていいます (")	(225)
㉓	こわくて運転できません (")	(127)

これらのうち①～⑭は表現したい概念をそのまま提出しただけで、相手による待遇上の使い分けや、念押し、確認など相手への話者の主観的な働きかけはなされていない。⑭～㉑は「です」「でしょ」「～ちょうだい」「～ください」など丁寧語や謙讓語を使って待遇関係の差をつけている。

①②③⑩は本来の形からみれば「だ」が省略されたものであり、また「です」をつければ丁寧な言い方になりうるものである。つまり⑤や⑮のようにも言うるもので、(A)「いちばん右の子」、(B)「いちばん右の子だ」、(C)「いちばん右の子です」の3種のレベルのものがあるということである。

⑥の文末の動詞の基本形で止めているものも待遇を上げるには㉒のように「ます」をつける形にすればいいので、(B)の型「思う」と(C)の型「思います」のレベルになる。

このように言い切り文の中の待遇のレベルの異なるものの使われ方を比べれば、どのレベルの形態のものが最も多く使われ、どのレベルのものが少ないか、つまりどのレベルの待遇がなされているかがわかることになる。

そこで、言い切り文の文末の品詞でわけてそれぞれのレベルでわけた表をつくってみた。動詞は(B)のレベルのものはないとして2段階で比べた。

(表 I)

	(A) の型	(B) の型	(C) の型
名詞・ナ形容詞	(例) 元気 179	元気だ 24	元気です 12
動詞	(例) 思う 92		思います 20
副詞・ナ形容詞	(例) いろいろ 5	いろいろだ 2	いろいろです 1

今回の調査の女子中高生の話し方では名詞・ナ形容詞の語幹が述部にくるとき、「元気」を例とするなら「元気」>「元気だ」>「元気です」の順で多く使われ、動詞「思う」を例とするなら「思います」の形より「思う」が圧倒的に多いことがわかる。表現したい概念を直截明快に表出する言い方で、ぞんざいとも言えるが、一方では率直でわかりやすいとも言える表現をマンガの中の女子中高生たちは多く使っているのである。

命令形でも⑦の「帰れ」、⑧の「お呼び」、⑩「言いなさい」の3種類のレベルが使われているが、この3種類の使われ方は、

- ① 命令形 16例
- ② お+連用形のもの 5
- ③ 「なさい」を伴うもの 6

で、いちばん直接的で強い、①の型のものが最も多く使われている。「帰れ」のような命令形だけをそのまま言うのは従来は男性の言い方で、女性の言い方ではないとされてきたものである。

II. 文末に終助詞が使われているもの

話し手の感情や、主張・強調を明確に印象づけるためにはさまざまな終助詞が使われる。ここではどのような終助詞が使われているか、それは終助詞相互の間でどのような関係にあるのか、終助詞を伴わないものと比べるとどうなのかをみることにする。そのため採集した終助詞を50音順に並べて問題点をあげていく。

(1) 「か」

『日本文法大辞典』（明治書院1971，以下『文法』と略記する）によれば、疑問、質問、反問、詰問、反ばく、反語、遠まわしな命令や禁止などを表わす助詞である(P. 84)。

- ① どこいってたんですか (107)
- ② 看病に来てもらおうか? (098)
- ③ ひどいじゃないか (059)
- ④ まっいいか (253)

①②の「か」は疑問を表わすものだが、①は敬体につき、②は常体についている。③は相手を詰問したり、なじる気持ちを表すもの、④はひとり合点を表すものである。

①と②の例数はそれぞれ36例と35例で、ほぼ等しく、疑問の終助詞「か」の文は丁寧な言い方と率直な言い方の差はないことがわかる。

なお、①の形で問いかける相手は、先生、部活の先輩、年上の他人といった年上の人と、同年齢で初対面、ライバル意識をもった相手で、同年齢の友人に使う例はない。②の形は同年齢の友人、兄、弟、姉に対するものだけである。

益岡・田窪1989(注1)では、普通体に「か」をつけた疑問文は男性的表現とされているが、②の形のもものがそれに当たる。つまりマンガの中の女子中高生たちは男性的とされる表現を、男女共通とされる①のタイプと同じぐらいに使っていることになる。

(2) 「かしら」

『文法』では「①疑問文を作る、②自分に問うような気持ちで疑いや不審を表わす(後略)」と記され「今日では主として女性が使う」(P. 105)とされている。

- ⑤ あれだれかしら (048)
- ⑥ 風邪ひいたんじゃないのかしら (059)

のような例を採集しているが、この「かしら」を用いた文は、今回の女子

中高生の話しことばの調査では、全体で4627談話のうち9文にすぎなかった。この語は男性が使う例も増えてきているので「主として女性が使う」との記述には疑問があり、前回の調査でもそのことは述べているが、今回の女子中高生の中でわずかしかわれられていない例数もそれを裏づけているように思う。

(3) 「かな」

『文法』では単独の項目としては採録されていないが、田中1977(注2)で「単なる疑問を表わすだけでなく、話し手の違いや躊躇の気持ちを表わす」とされるものである。

⑦ 手袋してくればよかったかな (065)

⑧ 学校離れてるからかな (045)

田中はこの「かな」を男性用とし、これに対応する女性側のものを「かしら」だとしているが、この「かな」は今回の調査で25例採集している。つまり従来男性用とされるもののほうを女性用とされる「かしら」より、女子中高生ははるかに多用しているのである。

(4) 「け」

『文法』で「①回想。過ぎたことを思い出して述べる時使う。②聞き手の関心や返答を誘うような気持ちをこめて質問文を作る」(P.189)とされているものである。この終助詞の例は少なく、

⑨ 興味ないんだっけ? (059)

⑩ 神谷っつったっけ? (070)

など4例だけ採集している。

(5) 「けど」

『文法』で「断定的にいうのを避ける気持ちを表わす」(P.213)とされているものである。

⑪ お口に合うといいんですけど (056)

⑫ 心配ないと思うんだけど (065)

「けれども」「けれど」「けども」など一連のものであるが、その中で最も短い形の「けど」だけが使われていた。また、上接の文のレベルは⑩のような敬体のものと、⑪のような常体のものとあるが、その使われ方を比べると敬体のもの3例に対し、常体のもの26例で、常体のものが圧倒的に多かった。敬体のもの3例の話し相手は友人の母、ボーイフレンドをはり合うライバル、ひいきのすもう取りである。

断定を避けるためにつけ加える終助詞ではあってもその中でもいちばん短い語形で、常体に接続した用法がほとんどであることがわかる。

(6) 「くせに」

『文法』には「名詞『くせ』と動詞『に』の連語」とされ「終助詞的に用いられることもある」(P. 175)とされている。

⑬ たいした力もないくせに (047)

⑭ 口パクのくせに (030)

この語は相手を責めたり、難詰したり、非難する気持ちがこめられているので、これで文末を終えるのはかなり強い表現になる。6例採集しただけでそれほど多く使われるものではない。

(7) 「さ」

『文法』で「自分の発言は自明のことだと思いながら聞き手にして押しつけもせず、それはそれだけのことといった態度であっさり言い放つときに使う」とされ、「男性が主として使用する。稀に女性が使うとぞんざいな感じを与える」(P. 251)とされている語である。

⑮ うっしっしなのさ (254)

⑯ 言ってくればいいのにさ (059)

「稀に女性が使う」とされているが、今回の調査では間投助詞としてのものを除き文末のものだけで29例特集している。稀な用法というには多い数であろう。

(8) 「ぜ」

『文法』で「自分の発言について軽く念を押ししたり強めたりする気持ちを表わす。親しい仲間を使う」、「男性専用」(P.361)とされる語である。

⑰ 今日で3日めだぜ (059)

⑱ そりゃきつと策略だぜ (100)

2例だけであるが、「男性専用」とされる語の女性の使う例でもある。

(9) 「ぞ」

『文法』には「①自分の発言を強調する、自分に言い聞かせるような気持ちをこめる、②聞き手に向かっていう場合は聞き手の気持ちや意向を無視して自分の発言を強く押しつけようとする態度を表わす」「男が会話で仲間や目下に向かって使う」(P.393)とされている。

⑲ もう春休みだぞ (059)

⑳ もっと悲しくなっちゃうぞ (074)

など使われていたのは7例だが、「ぜ」と同じく「男性専用」とされる語の女性の使用例ということになる。

(10) 「だって」

『文法』では「ある人の言ったことばをそのまま、意外であると、驚きや非難の気持ちをこめて他に告げる場合に用いられる」(P.436)と記されている。

㉑ 岡本くんだけだって (232)

㉒ だいじょうぶだって (033)

使用上で性差はないもので、14例あった。

(11) 「て」

『文法』で「相手に対する依頼・要求の気持ちを表わす」「これは女性に限らず、広く男性にも用いられる」(P.509)とされているものである。

㉓ かまぼこ屋さんなんですって? (056)

㉔ 告白したって? (074)

㉕ 悪いけどあきらめて (070)

㉖ ちょっと顔かして (058)

㉔㉕は質問・発問の働きをするもので5例、㉕㉖は「くれ」「ください」の省略した形で85例採集している。これらは男女共用ということであるが「女性専用」とされて示された「わたしがこれいただいてよろしくって」のような使い方のものはない。

(12) 「な」(「なあ」)

まず禁止と感動とに分ける。禁止の終助詞について『文法』は「女性は、普通使わない、男も目上の人にはほとんど使わない」(P.575)と記している。

㉗ ついてくんな (046)

㉘ 春(人名)をいじめるな! (053)

これらは女性は使わないとされるが、実際には使われていた例である。

感動の終助詞としては「①感動や詠嘆を表わす、②願望を表わす、③軽く断定したり主張したりする気持ちを表わす、④同意を求めたり返答を誘ったりする」「男性が使う」(P.576)と記されている。

㉙ よかったなあ (046)

㉚ わたしも写真見たいな (059)

㉛ さては海辺に行ってきたな (062)

㉜ エロビデオ返せよな (059)

㉚のような「あ」を伴ったものは「な」と比べると詠嘆の程度が強く、「な」と区別することが必要だが、マンガでは表記の問題がからんで容易に区別できない。「見たい」の詠嘆の言い方として、マンガの中では「見たいなァ」「見たいなあ」「見たいなー」「見たいな——」のような記され方をしている。片仮名を添えた「なァ」としたものと「なあ」を比べるのも「なー」と「なあ」とどう違うか「なあ」と「な——」とどう違うか決められないからである。同一作者によるものなら一定の基準で強さを決めることもできようが、作者が異なるのでそれもできない。したがって、今回は「な」

も「なあ」も同じものとして数えている。このことは「ね」「ねえ」、「よ」「よお」の場合も同じである。

なお『文法』でも田中1977でも「男性が使う」としているのであるが、この語を使った例は44例にもものぼっている。

(13) 「ね」

『文法』では「②自分の発言内容に同意を求めたり、そうかそうでないかの返答を求めたりする。④念を押す⑤（聞き手の同感を求めながら）軽い感動を表わす」のように記され、また、「男女間に相違がある、男性語では文につく。男女間の違いは終止形では女性語は『わ』を介する。形容動詞は(男)静かだね。(女)静かね。名詞・副詞は(男)『だ』を介する。(女)直接つただし女性には『だわね』の形もある。助詞『よ』『わ』(男)接続しない。く。(女)する」(P.644)のように男女の使い方の違いを詳しく述べている。

- | | | |
|---|---------------------------|-------|
| ㉔ | よくそんなめんどうなことがいえる <u>ね</u> | (052) |
| ㉕ | 最近元気ない <u>ね</u> | (232) |
| ㉖ | 髪切ったんだ <u>ね</u> | (049) |
| ㉗ | 楽しみだ <u>ね</u> | (071) |
| ㉘ | うかないカオ <u>ね</u> | (069) |
| ㉙ | かわいそうだったよ <u>ね</u> | (050) |
| ㉚ | しょうがないわ <u>ね</u> | (046) |

これらの例のうち㉔～㉖は、男性の使い方とされるものであり、㉗～㉚は女性の使い方とされるものである。㉙のようなものが女性専用とされていることについては「そうですよね」「2時半からだよね」など男性も女性も使うと思うので、『文法』の記述は納得できない。

㉔～㉖のような男性専用とされる使い方の例は35あり、㉗のように「だ」を介さず直接「ね」がついて女性専用とされるものは30例あった。また、㉙のような「わ」を介するものは、「わ」の前の形は㉔～㉖のものと同じで、㉔～㉖を男性的とするなら、㉙は女性的とされるものであり、この種の「ね」の用法では男性的な使い方のほうが3.5倍になっている。

(14) 「の」

『文法』では「断定表現に用いられ、その語調がやわらげられる。現代語ではもっぱら女性が用いる」(P. 653)とされる。

- ④⑩ どうして好きなの? (059)
④⑪ どこ行くの? (060)
④⑫ わたし婚約してるの (067)
④⑬ 眠れそうな気がするの (100)
④⑭ その言い方はないんじゃないの (060)
④⑮ はやくしないとまにあわないの (028)

④⑩⑪は質問を表わすもの、④⑫⑬は軽い断定を表わすもの、④⑭⑮は相手を非難したり、なじったりする気持ちを表わすものである。

④⑩⑪については「の」のつかない「どうして好き?」「どこ行く?」の形のものとは比べてみる。ここでは④⑩のようにナ形容詞と名詞に「な」を添加して「の」をつけたものを「好きなの」型、④⑪のように動詞・補助動詞・助動詞・形容詞の基本形に「の」をつけたものを「行くの」型として、他方それらに「の」のつかないものを「好き」型と「行く」型として、それぞれ比べてみる。

- ① 「好きなの」型 19例 「好き」型 75例
② 「行くの」型 141例 「行く」型 93例

「行くの」型と「行く」型では「の」のついた、つまり女性的とされる表現が多いのに対して「好きなの」型と「好き」型では「の」のつかない「好き」型、つまり、「の」をつけて女性専用とされるものよりも、つかない形の方がはるかに多く使われていた。

(15) 「もの／もん」

『文法』で「相手に対して、自分がなぜそうしたか、どうしてそう思うかなど説明する文につける」(P. 846)とされている。

- ④⑯ 彼女じゃないもの (058)
④⑰ 血はつながってないんだもの (093)

④⑧ 私左で桃子ちゃん右だもん (070)

④⑨ しっかり名まえ書いたもん (060)

元からの形「もの」と、そののくだけた形「もん」とが使われているのだが、「もの」の方は18例、「もん」の方は52例で、くだけた言い方が元の形の約3倍となっている。

(17) 「よ」

『文法』で「強調の意味を表わす。①断定言いきかせる意味で念を押す、③命令・依頼の気持ちを少し強める。④勧誘・ねだりを表わす」などとされ「男女間に相違がある。①活用語・終止形（男）直接つく。（女）『わ』を紹介する。②活用語・命令形（男）直接つく。（女）直接つく。ただし敬語動詞命令形が主。③形容動詞（男）直接つく。（女）語幹、あるいは『わ』を介してつく。④名詞・副詞など。（男）『だ』を紹介する（直）直接つく。後略」（P. 887）と述べている。益岡・田窪1989も『よ』を述部の普通体につけると男性的表現になる。……ただし、判定詞『だ』、ナ形容詞の基本形の語尾『だ』を省略したものに『よ』をつけた言い方は女性的表現になる」（P. 202）としている。

⑤⑩ 今晚もつと思うよ (046)

⑤⑪ 頭が痛いよッ (253)

⑤⑫ しっかりしろよ (046)

⑤⑬ 元気だしなよ (060)

⑤⑭ わかってんだよ (100)

⑤⑮ あたしへーキだよ (048)

⑤⑯ 94と95だよ (075)

⑤⑰ 始めちゃってるわよ (248)

⑤⑱ やめなさいよ (225)

⑤⑲ だいたい異常よ (074)

⑤⑳ どんどん身につくタイプよ (058)

⑤⑩～⑤⑱が『文法』、益岡・田窪1989で男性的表現とされ、⑤⑰～⑤⑳が女性的表現と

されるものである。実際の使用例数としては、㉔～㉕のもの合計が122例、㉖～㉗の合計が156例あった。「よ」の男性的使用、女性的使用でみるかぎりでは、マンガの女子中高生たちは女性的使用の方がやや多かったわけだが、男性的とされるものが122例にもものぼることにも、目を向ける必要はあろう。

(18) 「わ」

『文法』では「女性が使う。やわらかな感じを与えながら、軽く主張したり、ほんとうにそうだという気持ちを伝える」(P.924)とされている。

㉔ 魔法がとけないわ (046)

㉕ きっと社長に気に入られるわ (051)

のように活用語の終止形につくもので、59例あった。「大変ですわ」「参りますわ」など丁寧語のあとにもつきうるが、今回の女子中高生の話しことばの調査の中にはこのような待遇度の高いものは1例もなかった。男性は使わず女性が使うことは確かだが、女性がいつでもだれでも使うわけではない。ここで、「わ」のついたものについていないものとを比べてみたい。「魔法がとけないわ」の文に対して「魔法がとけない」と事実だけを言い切る文があるので、その使われ方を比べてみるわけである。

「わ」に続く語を語形別にして、「わ」がつくものとつかないものを比べると次のようになる。

型	「わ」がつく	「わ」がつかない
①型 名詞・ナ形容詞+ダ	(例) いやだわ 7例	いやだ 54例
②型 形容詞の基本形	(例) あぶないわ 11	あぶない 49
③型 動詞・補助動詞の基本形	(例) がんばるわ 20	がんばる 81
④型 助動詞の基本形	(例) こないわ 20	こない 90

この表からは、マンガの女子中高生たちの話しことばでは同じ性質の語を使って表現する場合、「わ」をつけてやわらかな感じを添えようとするよりも、そのまま言い切って表出する方が多いということがわかる。

「わ」はまた、「ね」や「よ」を後ろに伴って同意を求めたり、強調したりする表現の一部ともなりうる。「わよ」「わね」のような複合形を作りうるのである。そこで上の比較と同じように「わね」と「ね」、「わよ」と「よ」で比べてみる。

		「わ」がつく	「わ」がつかない
	①型	(例) そうだわよ 0	そうだよ 78
わ	②型	(例) いいわよ 7	いいよ 20
よ			
/	③型	(例) 行くわよ 17	行くよ 24
よ			
	④型	(例) 行ったわよ 19	行ったよ 32
<hr/>			
	①型	(例) そうだわね 0	そうだね 2
わ	②型	(例) いいわね 4	いいね 4
ね			
/	③型	(例) 行くわね 2	行くね 7
ね			
	④型	(例) 行ったわね 4	行ったね 13

「わね／ね」の「いいわね」型と「いいね」型が同数のほかは「わよ／よ」も、すべて「わ」のない形の方が多くなっている。

マンガの女子中高生は、「いいわ」「いいわよ」「いいわね」など女性専用とされる終助詞「わ」のつく表現を使っているが、それ以上に男性的とされる表現をしているということがこの表からわかるのである。

まとめ

以上、Iでは、終助詞のつかない言い切り文の中での相互の待遇の差に注目してみた。その結果、あいさつ語に関しては女子中高生がぞんざいなものより待遇度の高いものを選んでいること、他の言い切り文では例えば、「きれい」>「きれいだ」>「きれいです」の順に使われている。ここでは最もぞんざいな形が多用されている。

IIでは、終助詞のついた文から、個々の終助詞別に見てみた。終助詞には「男性的」や「女性専用」のような使い手に関する記述が多いが、それらの性差がマンガの女子中高生の中にあるのかどうかを中心にみてきた。

その結果、「男性専用」とされる終助詞を使う例が「き」「ぜ」「ぞ」「な」などいくつもの終助詞にみられ、女子中高生の話しことばは「男性化」していることがわかった。その一方で、「男子専用」「女子専用」の記述自体が実情に合わなくなっているものがあるように思われた。これらの終助詞は、話しことばで用いられ、話者の感情、主張などを表明する機能をもつもので、そのようなことばが「男子専用」とか「女子専用」と区別するには相当綿密で具体的な調査の裏づけが必要である。従来そのような経過をへずに論者の内省中心に記述されてきたように思う。また、社会の中での男性のあり方、女性のあり方の変化によることばの変容も大きい現在、その推移の状況と実態はより具体的に事実即してに記述されなければならないであろう。

(注1) 益岡・田窪1989『基礎日本語文法』くろしお出版

(注2) 田中章夫1977「助詞(3)」『岩波講座日本語7文法Ⅱ』